

有限会社 奥原鉄工



沖縄県
与那原町字上与那原363-3
番地

代表取締役
奥原 崇彦

1985年(昭和60年)設立
TEL 098-945-3986

<http://www.ohtk.jp>

沖縄の1.5次産業を支える
金型・機械製造メーカー

沖縄の農作物（シークワサー、タンカン、サトウキビ）等の搾り機を開発し、農作物加工の用途拡大に寄与。

沖縄県内唯一のプラスチック製品用金型メーカー

同社は沖縄の製造業を支える地場の金型メーカーとして、リーダー的な役割を担ってきた。これまで、沖縄県内の製造業者から寄せられる様々な技術相談に対応し、数多くの共同研究開発で成果を収めてきた。特に、プラスチック製品用の精密金型のメーカーとして、県内唯一の技術を保有。その技術を応用して、自社オリジナルの機械製作を手掛けるなど、提案型の企業として独創的な商品開発に取り組んでいる。

特許を有するオリジナル搾り機の開発

県内の農家や飲料メーカーのニーズに応じて開発したのが、シークワサー等、県産の柑橘類の搾り機。圧搾用のローラー構造が特長で、種子は潰さずに、大小の果実を圧搾。果汁とカスが別々に自動排出され、連続運転が可能となったことから、従来品と比較すると作業効率が高まり、搾汁率も10%以上アップした。県産の農作物は、様々な商品開発が期待されており、1次加工のニーズに対応した機械として、好評を得ている。



県内企業との様々な共同研究

同社が沖縄職業能力開発大学校や地元養鶏場と取り組んだ鶏卵自動販売機の開発は、同大学校応用課程の一環で実施されたもので、養鶏農家の新たな販売方法として注目された。今後、農商工連携による取り組みが地域活性化に繋がることが期待されているが、同社は農業支援が可能となる製品開発にも積極的に取り組んでおり、沖縄の製造業だけではなく、農業をも支える地場の金型メーカーとして、その取り組みが期待されている。

平成 21 年 6 月
沖縄総合事務局
経済産業部地域経済課

「2009年元気なモノ作り中小企業300社」感謝状贈呈式

経済産業省中小企業庁は、普段は目に触れにくいものの、我が国産業の経済活力の源泉として、重要な役割を果たしているモノ作り中小企業の姿を、広く国民に対してわかりやすく示すことにより、選定された中小企業の事業機会の拡大や活力の高まり、他の中小企業の一層の奮起、若年層を中心にモノ作り分野に対する関心を持つきっかけとなることを期待し、「2009年元気なモノ作り中小企業300社」を選定したところです。

今回、沖縄ブロックから選定された、有限会社沖縄長生薬草本社（日本のイノベーションを支えるモノ作り中小企業部門）、有限会社奥原鉄工（キラリと光るモノ作り小規模企業部門）の2社に対し、感謝状等の贈呈式を開催いたします。

1. 開催日時 平成21年6月9日（火） 14:00～
2. 開催場所 沖縄総合事務局 6階 特別会議室
（那覇市おもろまち 2-1-1 那覇第2地方合同庁舎 2号館）
3. 沖縄から選定された企業の概要（詳細は別紙参照）
【日本のイノベーションを支えるモノ作り中小企業部門】： 有限会社長生薬草本社
●薬草の新たな有用成分の抽出・製造方法を確立
沖縄県産の薬草に含有されるポリフェノールの抽出・製造方法の確立により、薬草の新たな活用分野を開拓。当該技術が海外メーカーとの信頼関係を構築。
【キラリと光るモノ作り小規模企業部門】： 有限会社奥原鉄工
●沖縄の1.5次産業を支える金型・機械製造メーカー
沖縄の農作物（シークワサー、タンカン、さとうきび）等の搾り機を開発し、農作物加工の用途拡大に寄与。

連絡先
沖縄総合事務局経済産業部地域経済課
譜久嶺、長嶺 電話：(098) 866-1730